

＜基本情報①(自治体情報)＞

都道府県市名 政令都市・中核都市名	福井県		
高校入試 担当部署名	高校教育課		
TEL	0776-20-0549	FAX	0776-20-0669
URL	https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/koukou/index.html		

＜基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)＞

調査担当者名	半原芳子	(所属: 福井大学連合教職大学院)
--------	------	--------------------

＜全国一覧掲載情報＞

	Ⅰ 全日制高校について						Ⅱ 定時制高校について					
	A.外国人生徒		B.中国・サハリン帰国生徒		C.海外帰国生徒		D.外国人生徒		E.中国・サハリン帰国生徒		F.海外帰国生徒	
	A2-1.措置	A3-1.枠	B2-1.措置	B3-1.枠	C2-1.措置	C3-1.枠	D2-1.措置	D3-1.枠	E2-1.措置	E3-1.枠	F2-1.措置	F3-1.枠
1. 設置されているか(2-1、3-1と一致)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×
2. 国籍要件の有無(一部条件がある場合は備考に記入)	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし		なし		なし	
3. 定員の確保がされているか(3-5の記入欄番号①②から1つ選択、枠がない場合は無記入)	①定員内			①定員内		①定員内						

I 全日制高校について

	A.外国人生徒	B.中国・サハリン帰国生徒	C.海外帰国生徒
1.2024年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	有
2-1.2025年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	○	○	○
2-1の名称	一般入学者選抜	一般入学者選抜	一般入学者選抜
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記	なし	なし	なし
2-2.滞日年数制限	外国での継続在住年数2年以上で帰国後または入国後2年以内の者	外国での継続在住年数2年以上で帰国後または入国後2年以内の者	外国での継続在住年数2年以上で帰国後または入国後2年以内の者
2-3.措置の内容	本人の申出により、学力検査を国語・英語・数学の3教科の学力検査および面接とすることができる。	本人の申出により、学力検査を国語・英語・数学の3教科の学力検査および面接とすることができる。	本人の申出により、学力検査を国語・英語・数学の3教科の学力検査および面接とすることができる。
2-4.2024年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	有
3-1.2025年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記	○	○	○
3-1の名称	外国人生徒等特別選抜	外国人生徒等特別選抜	外国人生徒等特別選抜
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記	なし	なし	なし
3-2.滞日年数制限	なし	なし	なし
3-3.入学枠のある学校数／全学校数	2/24	2/24	2/24
3-4.学校名	足羽高校、武生商工高校	足羽高校、武生商工高校	足羽高校、武生商工高校
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内) 2校で23人程度	2校で23人程度	2校で23人程度
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択	○	○	○
3-7.試験内容	英語、数学、面接	英語、数学、面接	英語、数学、面接
3-8.2024年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	有
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2024年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入	外国人生徒等特別選抜 受験者数13 合格者数13		一般入学者選抜 受験者数1 合格者数1

Ⅱ 定時制高校について				
		D.外国人生徒	E.中国・サハラ以南の帰国生徒	F.海外帰国生徒
1.2024年度中について、 当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択		有	把握せず	有
2-1.2025年度の一般入試において、 当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の 場合は「2-1の備考」に明記		○	○	○
2-1の名称		一般入学者選抜	一般入学者選抜	一般入学者選抜
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記		なし	なし	なし
2-2.滞日年数制限		外国での継続在住年数2年以上で帰国 後または入国後2年以内の者	外国での継続在住年数2年以上で帰国 後または入国後2年以内の者	外国での継続在住年数2年以上で帰国 後または入国後2年以内の者
2-3.措置の内容		本人の申出により、学力検査を国語・英 語・数学の3教科の学力検査および面接 とすることができる。	本人の申出により、学力検査を国語・英 語・数学の3教科の学力検査および面接 とすることができる。	本人の申出により、学力検査を国語・英 語・数学の3教科の学力検査および面接 とすることができる。
2-4.2024年度の入試において、当該の措置で、日本語指 導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		無	把握せず	無
3-1.2025年度の入試において、当該項目の生徒を対象と した特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場 合は「3-1の備考」に明記		×	×	×
3-1の名称				
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
3-2.滞日年数制限				
3-3.入学枠のある学校数/全学校数				
3-4.学校名				
3-5.定員 ※該当する方 のみ記入	①定員内(枠内)			
	②定員外(枠外)			
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで 合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択				
3-7.試験内容				
3-8.2024年度の入試において、当該の枠で、日本語指導 が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択				
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、 2024年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項な どを記入				

2024年度実施(2025年度入試)調査票		
Ⅲ 高校入学後の状況		
1-1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択	有	
1-2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック	☒	A.教育課程に位置づけられた日本語授業(特別の教育課程、学校設定科目、個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施
	☒	B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施
	☐	C.母語(継承語)保持のための授業の実施
	☐	D.担当教員の加配
	☐	E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用
	☐	F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用
	☒	G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用
	☐	H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)
	その他の施策	
	上記に該当する実施校の校数等	特別募集枠2校および、定時制1校で実施。 ただし、Aは特別募集枠1校と定時制1校で実施。
補足事項		
2-1.「1-2のA」において 特別の教育課程 での日本語授業を行っている？	いる	
2-2.行っている場合、実施校数、実施高校名	1校 武生高校定時制課程	
2-3.行っていない場合、今後、教育委員会として実施計画はあるか？ ある場合は、その実施予定年度、予定高校数など		
3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば記入		
4.2024年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の課程)を修了し、来日後直接高校受検(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入	有	5人
5.2023年度中に、直接来日後による編入学者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入	無	

Ⅳ日本国内にある外国学校からの入学について		
	↓ 記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	○	
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学者選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	①	
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	○	
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学者選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	①	
3.上記のⅠⅡ特別措置と入学枠での滞日年数制限について、日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在住期間に含むか否か ※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めない」のいずれかで記入		外国人学校の教育課程等を確認した上で、個別に対応する。
4.外国学校の中等部の卒業生について、2024年度入試において受験(受験)希望があったか ※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」を記入。把握していない場合は「把握せず」	無	

V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ ※各地域を担当されている皆さんだから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。 「他地域から皆さんが担当する地域に引越し予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。	
1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受験(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること	
2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など	
3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できるところ ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください	福井県国際交流協会および各市町の国際交流協会
4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。	福井県国際交流協会および各市町の国際交流協会
5.公立高校入試の特別措置や特別入学枠の設置のこれまでの経緯 ※〇〇年に特別措置が導入された(その内容)、〇〇年に特別措置が改善された(内容)、〇〇年に特別入試枠が導入された(内容)、〇〇年に特別入学枠の校数が〇校になった。・・・などのこれまでの経過について、わかる範囲で簡潔にご記入ください。詳しい内容が掲載されているホームページがあれば、記載してください。	2021年度入試より「外国人生徒等特別選抜」(滞日年数制限なし)開始。定員は2021年度入試では13人程度だったが、2022年度入試では23人程度へと増加。なお、本入試改革は高校改革(福井県立足羽高等学校多文化共生科日本語コース設立等)と連動。
6.その他 ※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致しません。	